

メッセージアウトライン 「信仰を持って主に近づく」 2016年10月23日(日)

聖書箇所：マタイ15：21～28

タイトル：「信仰を持って主に近づく」

テーマ：汚れた霊につかれた娘を持つカナン人の女が、イエスの許にやって来た。イエスがイスラエルのために来られた救い主であることを信じて、娘のいやしを願うためであった。イエスの言われたことに、謙遜に的確に対応していくこの女性の信仰のあり方をおして、私たちの信仰をもう一度点検してみよう。

1. 文脈の確認

*場所：ツロとシドンの地方（異邦人の地 地中海沿いの町）

ガリラヤ湖（ゲネサレ湖、キネレテの海とも呼ばれた）の西岸にあるゲネサレという町から移動

*登場人物：イエスとその弟子たち

カナン人の女

*状況：カナン人の女が、娘が悪霊から解放されることを願ってイエスの御許にやって来た

2. イエスがカナン人の女に対してとられた態度

①一言もお答えにならない

②弟子たちの訴えに対してもそっけない態度（のように思われる）

③さらに懇願する女性に対しても拒絶の姿勢

3. なぜイエスはすぐにカナン人の女の願いに答えようとされなかったのか。

①女性が異邦人であったことが問題だったのか？

②女性の変化

③女性の信仰が試された

④女性は動じなかった

4. 結論

①女性の願いは叶えられ、娘は治った

②カナン人の女性に見るイエスに対する信仰と態度

③私たちが今、与えられている恵み

④神の本質を知って、神に近づく